

高校生のみなさん！

県立大の授業が履修できるようになりました!!

山梨県立大学では、高校と大学との円滑な接続を図ることを目的に、高校生が大学の授業を履修することができる取り組みをスタートさせました。

今回は、令和4年度前期に開講予定の授業について、履修者を募集します。

しかも、県立大に入学すると既修得単位の申請ができるんです!!

科目等履修生として授業を履修し試験等に合格した場合に、入学後は既修得単位として単位認定の申請をすることができます。

たくさんの高校生の履修をお待ちしています。

高校生オススメ科目

「災害支援」

「災害支援」は1単位15時間（全8回_土曜日2日間集中）で災害の定義と援助の実際を学びます。講義、災害体験、応急処置の演習等でわかりやすく楽しい授業です。

（担当：看護学部 渡邊 裕子 教授ほか）

高校生オススメ科目

「アイデア共創実践」

何かアクションを起こしたいけど何から取り組めば良いかわからない、誰と協働したら良いかわからない、といった生徒にお勧めです。

県内外で活躍する起業家たちがメンターとして皆さんのサポートをしますので、今後のアクションに繋がる出会いもあると思います。積極的に履修してみてくださいね！

（担当：ヴィジョナリーパワー(株) 戸田 達昭 代表取締役）



社会人の半額！

受講料：7,400円（税込）／1単位

※入学検定料・入学料は免除します。

詳しくは、ホームページでご確認ください。

山梨県立大学 高校生 科目等履修生



公立大学法人

山梨県立大学

Yamanashi Prefectural University

〒400-0035

山梨県甲府市飯田5-11-1

TEL：055-225-5412（社会連携課）

MAIL：shakairenkei@yamanashi-ken.ac.jp

URL：http://www.yamanashi-ken.ac.jp/



令和4年度 高等学校等に在学する者に関する 科目等履修生について（一次募集）

出願期間：令和4年2月22日（火）～3月15日（火）まで

出願書類：高等学校等に在学する者に関する科目等履修生入学願書

※在学する高等学校等の長の推薦が必要です。お早めにご準備をお願いします。

NO.	科目名	担当教員	科目の目的
1	VUCA時代のキャリアレジリエンス	水上篤/杉山歩	現代は先の見えない時代(VUCA時代：Volatility (変動性)、Uncertainty (不確実性)、Complexity (複雑性)、Ambiguity (曖昧性))と呼ばれるようになりました。VUCA時代においては、自らのキャリアを形成していくに際して、様々な困難に直面していくことが予想されます。困難に直面した時に、しなやかに対応していく能力が求められます。本科目では、社会の変化にしなやかに対応していくためのマインドのあり方、手法について学ぶことを目的とします。
2	地域しごと概論(経営マインド)	手塚伸/今井久	ものづくり現場の経営者や支援者8名が登場し、仕事の理念、これまでの好機・危機、未来への戦略、VUCA時代を生き抜くための考え方などを語ります。経営者の皆様方の現場からの生の声や受講者への期待を通して、山梨県産業の多様さ・奥深さを理解するとともに、現実の仕事を実感することにより、今後のキャリアを構想するに当たっての基本的な知識や精神的な糧を得ることを目的とします。
3	地域しごと概論(地域づくり)	佐藤文昭	「VUCA」と呼ばれる先行き不透明な時代。そんな中で地域課題の解決には、これまでと異なる問題の捉え方やアプローチが求められています。本講座では、地域で暮らし働く様々なゲストスピーカーの視点から今日の社会を捉え、仕事を通じてそれと向き合う想いを綴る「ストーリー」を受講者と共有します。5名のゲストスピーカーとの対話を通じて、受講者ひとり一人にとって自らのキャリアを考えていく上での大切なことを探ります。
4	問題発見の技法	佐藤文昭	今日、私たちが直面している地域社会の問題は、複雑化・複合化し、目に見えている出来事も、実は様々な要素が複雑に絡み合っているように見えています。本科目では、こうした出来事が「なぜ」、「どのよう」に起こっているのかを、データやディスカッションを通じて一つ一つ解き明かしていくことにより、根本にある問題点をはなにかを見つげるための技法を指導します。それにより、今後、様々な分野における学修の基盤となる「問いを立てる力」を身に付けることを目的とします。
5	地域資源の保全と活用	堀内久雄/杉山歩	山梨県には、豊かな観光資源（文化と自然）があります。持続的な観光開発には自然環境、文化資源を保全しながら開発を進めていく必要があります。本科目では自然や文化の保全と観光をどのようにバランスさせていくかについて理解してもらうことを目的とし、多彩なゲスト講師をお招きし、実際に行っている活動についてお話を伺いながら、自らのように行動していくか考えてもらいます。
6	ローカルガストロノミー論	宮下大輔/安達義通	ローカルガストロノミーとは、地域の食や食文化について総合的に考察する学問です。食はすべての源であり、食についての様々な事象について深く理解ししっかり考察することはあらゆることに通ずることだと考えます。本科目では、ローカルガストロノミーの考え方、概論を良く理解したうえで、食を軸に山梨の創生に寄与するような考えを育むことを目的とします。
7	芸術活動をととした多様性協働プロジェクト	山野靖博/中原和樹	自立した個人として他の個人と向き合い、対話し、それぞれの立場と役割を受け入れ合うことで、独りでは到達し得ない演劇創作を体験することを目指します。その為に、自己の内省と他者への開示、他者の受け入れを軸として、表面上ではない深い対話を進めていく。社会的レイヤーから切り離された、人間同士としての交流と繋がりを構築することが必要となり、自分も生き、相手も生きるという道を探求し、自身の観点を広げ、鋭く成長させることを目的とします。
8	アイデア共創実践	戸田達昭/杉山歩	自分がどのような社会を作りたいのか（よりよい社会を作りたいのか、或いは課題を解決したいのか）、ということを実業を通じて実現するのが起業です。多くの先輩起業家や専門家たちをメンターとして迎え事業をデザインしていく方法とそれを相手に伝える方法（プレゼンテーション）を学び、実践することを目的としています。
9	簿記論	石山宏	商業に必須の手段たる簿記 (bookkeeping) は、万国共通の経済原語というべき存在です。本科目では、初級簿記の全体を学びます。
10	メディア・リテラシー	兼清慎一	メディアに対して、批判的に思考するセンスを養うことを目的とします。また、事実と意見を識別するセンスを養います。
11	災害支援	渡邊裕子 他	災害の定義と分類、災害のサイクルから災害の基本について学べます。また、災害サイクルと各期に応じた援助（ボランティア活動を含む）の実際、トリアージの基礎的な知識を学びます。

授業内容等については、下記ホームページのシラバスを参照してください。

<http://www.yamanashi-ken.ac.jp/exam/finish/finish>

